

## 病院長就任1年での挨拶

皆さまには、常日頃より患者さんのご紹介や移行(期)医療、在宅医療といった医療連携において、多大なご支援・ご協力を頂き、ありがとうございます。

ご紹介いただいた救急患者さんを断らないために、2014年のPICUの増床、2018年4月の急性期病棟の再開棟により救急患者さんの受け入れ態勢を強化してきたこととはすでにお伝えしておりますが、2018年11月には大阪府より小児救命救急センターの指定を受けました。ただし、現時点では中毒、熱傷、多発外傷など、当センターでは受け入れ困難な重症救急患者さんもおられます。それら疾病の専門家の補充も視野に入れ、今後も救急患者さんの受け入れに一層努力してまいります。



病院長 川田 博昭

急性期医療に関しましては、重症患者さんへの対応のみならず、皆さまからの相談に細かく対応するシステムを補強いたします。これまでに、患者さんからの相談やセカンドオピニオン受付の受け入れ窓口としての患者支援センターやPICUホットライン、小児がん・白血病ホットラインなどを設置してまいりましたが、今年度はこれらに加えて、心疾患ホットラインを設置いたします。これは、地域の医師の皆さまより、先天性心疾患の患者さんが感染症を発症し、熱発、下痢、嘔吐などをきたした場合、対処する上での注意点を相談したくても(忙しい)母子センターの医師には電話しづらいというお声を頂戴したためです。対応可能な小児循環器科医師に電話交換を介さず直接電話していただけますので、是非ご利用ください。電話番号は ☎ 0725-56-3833 です。

一方、皆さまのご協力により移行(期)医療、在宅医療を推進する所存でおります。地域医療連携システム(南大阪 MOCO ネット)をすすめていることはご存知と思いますが、現時点で、診療所(9か所)、病院(同3)、訪問看護ステーション(3)、保健所(3)など計18か所の医療機関の皆さまと連携させていただいています。現時点ではセンターの情報をそれぞれの医療機関で閲覧していただける一方向の連携ですが、将来はこれを双方向にするとともに連携医療機関も増えることを願っております。また、在宅医療の推進のために、2019年1月に在宅支援病床(8床)を設定いたしました。在宅医療に積極的な皆さまにより良い形で患者さんを受け入れていただくためには、当センターで専門病床を設けて丁寧に準備・対応することが必要であると判断したためです。

これまで通り、皆さまと一緒に良い医療を推進する所存でおります。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

人事異動 (2019年4月1日付) 副院長兼患者支援センター長 ▶ 鈴木 保宏 副院長兼看護部長 ▶ 福寿 祥子

## 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します。

## 基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- 地域と連携して、母子保健を充実させます。
- 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます。

口腔外科

私たち口腔外科は、口唇裂・口蓋裂の総合一貫治療を行うことを目的におよそ30年前に設立されました。それ以後、地域の医療機関のご支援とご指導の下、たくさんの患者さんに受診していただき、現在も日本で有数の口唇裂・口蓋裂治療センターとして役目を果たすことができています。

口唇裂・口蓋裂の総合一貫治療とは、

- ①外科的な手術治療
- ②ことば（発音）の獲得
- ③あごの成長発育（顔貌とかみ合わせ）

の3つが大きな治療の柱となります。このため、私たち口腔外科では、口腔外科医、言語聴覚士、矯正歯科医の専門職が同じ場所で一体となって診療に当たっています。病院としてこのような体制を取っているのは全国でも当センターだけであり、この点が私たちの最も大きな強みとなっています。



口腔外科スタッフ

ただ、口唇裂・口蓋裂に限らず小児の口腔顔面の疾患では、手術、言語、歯科矯正は避けて通ることができない治療です。そのため当科では、広く小児の口腔や顔面の疾患も診させていただきます。またお子さんの構音障害や吃音の相談も受けつけています。歯科矯正は、保険適応の診療を行っております。口唇裂・口蓋裂の患者さんについては、出生前カウンセリングも行っています。また、急にお生まれになった場合は、往診させていただくことができる場合もありますので、直接お電話を頂けると幸いです。

これからも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

（口腔外科 主任部長 山西 整）

薬 局 の 紹 介

現在、薬剤師の業務は多岐にわたっております。その一部をご紹介します。



妊娠と薬外来

医薬品が胎児に及ぼす影響について不安を感じている妊婦さんおよび妊娠を希望する方に対して、薬剤師と母性内科・産科の医師と一緒に相談に応じています。

妊娠の時期（前期・中期・後期）による薬の影響の違いや、薬を使用することのリスク（危険性）とベネフィット（有益性）を「妊娠と薬情報センター」から入手した最新情報に基づいて説明しています。

薬局スタッフ



入退院センターにおいて入院予定の患者さんの持参薬確認を行っています。入院患者さんの薬剤管理指導の他、母性棟・NICU・ICUにおいて薬剤師病棟業務を開始しています。病棟業務を行うことによって、医師が実施した薬物療法に対してその後の経過の観察や薬物療法の効果の確認を行うことができ、その評価と問題を把握し、医師や看護師さらには患者さんにフィードバックすることができます。

また、抗がん剤ミキシングやTPNの調製の他、院内感染制御チームや栄養療法サポートチーム、緩和ケアチームに参加し薬学的知識でチーム医療を支援しています。

薬剤師研修センターの小児薬物療法認定薬剤師のための1日病院実務研修を受け入れ、地域の薬剤師の研修も担っています。（薬局長 望月 千枝）

## 在宅支援病床を開設しました

従来3階東棟は新生児棟からの転棟患者さんや、乳幼児期の医療的ケアが必要な患者さんを多数受け入れていました。また、病棟には和室・浴室・キッチンスペースを兼ね備え、在宅のシミュレーションができる『ファミリールーム』があります。そのような背景から、8床の在宅支援病床を運用することになりました。



在宅療養を望む患者さんとその家族の方の力になれるように病床移行したうえで医療的ケアを習得できるよう支援を行っています。また、家庭状況や福祉サービスの調整・医療評価入院の時期等、様々な観点からケースワーカーや保健師・在宅担当心理士などの多職種とともに検討し、さらに地域とも連携をしています。



地域包括ケアの概念は単に高齢者だけでなく、様々な支援を必要としている子どもと家族がその人らしくイキイキと暮らしていくためのものだと考えます。

子どもと家族の方の笑顔のために、当センターとしての役割を十二分に発揮できるようにしていきたいと考えています。

## 小児救命救急センター

2018年  
11月1日  
開設



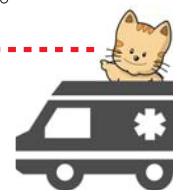
救急初療(蘇生)室

当センターは大阪府より小児救命救急センターに認定され、内因系の重症疾患であれば、救急隊からも直接患者さんを受け入れることになりました。

これまで、状態の悪い患者さんでも、いったん他院で受入れていただき、その後必要があれば当センターに搬送されていました。

しかし、今後は、救急隊からの要請にも直接応えて、患者さんを受け入れますので、専門的な治療を開始するまでの時間が短縮できると考えられます。

今はまだ、対応できない症例もありますし、課題は残っています。でも、一つずつ解決し、より地域に貢献できる体制作りを目指していきたいと思っています。



News

## 当センター監修で制作したケトン食レシピ本が刊行されました。

ケトン食は、難治性てんかんや先天代謝異常症の食事療法として重要ですが、入院患者さんにケトン食を提供し適切な栄養食事指導を行うことは容易ではありません。



本書は、当センターが取り組んできたケトン食の理論と継続のためのコツ、患者さんの病態とご家族の食生活に合わせて適切かつ簡単に実施できるケトン食のレシピをたくさん掲載しています。治療のためにケトン食を必要とする患者さんにご家族、それを支援する医療・福祉関係の皆様には是非お読みいただきたい1冊です。



作成に携わった栄養管理室のスタッフ

## 2019年度 イブニングセミナーのお知らせ(医療関係者対象)

イブニングセミナーは地域の医療機関の皆さまに大阪母子医療センターを知っていただくことを目的に開催しております。今年度も以下のとおり引き続き開催します。どうぞお気軽にご参加ください。



- 対象** 医療関係者
- 時間** 17時45分～19時00分(講義60分)
- 場所** 母子医療センター 研究所大会議室
- 申込み** 不要(直接会場にお越しください。)



大阪府医師会生涯教育  
研修システム1単位に  
認定されています。

※今年度より、日本小児科学会 新専門医制度 iii 小児科領域講習(1単位) の申請を予定しています。

単位希望の方はセミナー開始前に受付で引換券を受け取り、セミナー終了後に単位シールと引き換えとなります。

日程	担当部署	テーマ	講師
2019年 5月16日(木)	腎・代謝科	小児の腎機能評価と腎代替療法	山本 勝輔
2019年 6月 5日(水)	整形外科	小児期の下肢痛～股関節疾患を中心に～	樋口 周久
2019年 7月18日(木)	集中治療科	小児の集中治療とPICUホットライン	清水 義之
2019年 9月 4日(水)	小児外科	小児疾患に対する鏡視下手術の適応と実際 ～創のない手術を目指して～	曹 英樹
2019年10月17日(木)	小児循環器科	先天性心疾患のスクリーニングの仕方	石井 陽一郎
2019年11月 7日(木)	栄養管理室	重症心身障がい児の栄養管理(仮)	西本 裕紀子
2019年12月 4日(水)	耳鼻咽喉科	小児科医として知っておきたい上気道疾患	廣瀬 正幸
2020年 1月22日(水)	泌尿器科	小児の腎移植	矢澤 浩治
2020年 2月 6日(木)	リハビリテーション科	小児の急性期リハビリ	田村 太資

## 分娩者取扱者に対する 新生児蘇生法(NCPR)講習会(Aコース)のご案内



今年度は右記のとおり、  
引き続き講習会を開催いたします。  
詳細は当センターの  
ホームページをご覧ください。

- 日程** 2019年10月12日(土)、2020年2月1日(土)
- 時間** 12時30分～17時30分
- 場所** 大阪母子医療センター 2階看護演習室
- 参加費** 5,000円/人
- 申込方法** 『受講希望日、所属先、職種、参加者名(フリガナ)、連絡先、文書郵送先』をメールにてお知らせください。
- 申込先** 患者支援センター Email: chiren@wch.opho.jp

### 交通のご案内



診察時間 : 平日 9時～17時30分  
予約受付時間 : 平日 9時～19時

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪母子医療センター 患者支援センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

【初診専用】 TEL : 0725-56-9890 (直通)

FAX : 0725-56-5605

【その他】 TEL : 0725-55-3113 (直通)

FAX : 0725-56-7785

【医師相談窓口】 MAIL : chiren@wch.opho.jp

医療者対象  
ホットライン  
(※24時間受付直通)

PICUホットライン  
☎ 0725-56-1070

小児がん・白血病  
ホットライン  
☎ 0725-57-7677

心疾患ホットライン  
☎ 0725-56-3833

この広報誌に関するご意見・ご要望は FAXにて患者支援センターにお寄せください。